



森の中の高知駅



高知を愛する皆様へ (31年1月号)

平成31年1月1日

新年おめでとうございます。旧年中は温かいご支援・ご声援をいただき有難うございました。本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。

1月13日(日) 9:30~11:00 (厳寒の折30分繰り下げました)

南口電停脇「みんなの庭」などの手入れを行います。

14:30~15:30 中央公園前の帯屋町筋でチラシ配りと葛岡さんによるギターライブです。

<2月の共同活動は17日(日)、3月も17日(日)の予定です>

12月のトピックス

○16日(日)午前、南口タクシープール東脇の緑地に樹高3メートルあまりのナギの木2本を植えました。植樹会には高知市役所みどり課代表、寄贈者高知高須病院代表、協力者前川種苗の職人さん、森の中の高知駅応援団など大勢の方々が集まってくださいました。



作業風景です



やや見えにくいですが○印が新しい木々です

午後の帯屋町ライブも好天に恵まれ、行き交う人々にギターと歌を楽しんでいただきながらチラシを配りました。

.....(次ページに続く).....

駅前緑化活動はご賛同の方々のご厚志で維持されております。引き続き皆様のお力添え(花苗持ち寄り、勤労奉仕、ご寄付など)をお願い申し上げます。

♥森の中の高知駅♥ 幹事連絡先：〒780-0042 高知市洞ヶ島町1-11

中田昌志 携帯電話：090-8849-3651 E-mail：m.nakata@ak.wakwak.com

公文敏雄 携帯電話：090-7016-3743 E-mail：kumont2@yahoo.co.jp

ホームページ：<http://mori-kochi-eki.jimdo.com/>

取引銀行：四国銀行よさこい咲都支店「森の中の高知駅 代表中田昌志」ナカタマサシ 名義 普通 0709695



「緑のまちづくり」を考える

(27) ナギの木は残った(安芸市 国道土佐東街道)
—「御神木ナギの木」ものがたり—



高知市から国道55号線(土佐東街道)を東に走って安芸市に入り、バス停「伊尾木不動前」に差し掛かると正面にナギの巨木が現れ、片側1車線の道が、その木(実は「浪切り不動尊」境内)を挟むようにいきなり二股に分かれます。由来を調べたら、土地の昔話にたどりつきました。

.....

く昔、金二という漁師が仲間と沖に出たところ、すごい嵐になって舟が砕け海に投げ出された。泳ぎ下手の彼が、日ごろお参りしている波切り不動明王に一心に祈ると、目の前に木の小枝が現れたので、それにすがって金二ただひとり浜にたどり着いた。命拾いしたお礼にお不動さんにお参りに行くと、境内のナギの木の枝が一本折れてなくなっていた。話を聞いた村人たちは、お不動さんとナギの木を一層大切にするようになった>

く時が過ぎて高度成長に沸く昭和44年(東名高速道路全線開通)、安芸でも国道の拡幅工事が始まり、ナギの大木が邪魔だとして切り倒されそうになった。しかし、御神木を守れという地元民・関係者の猛運動に当局も折れて計画を修正、木を避けて部分的に上下車線を分離(道路を二股に)するという前代未聞の策で木が救われた>

(参考資料:土佐教育研究会国語部編「読みがたり高知のむかし話」、「広報あき昭和46年8月号」=安芸市役所学校教育課ご提供)

.....

今は昔、昭和をはるかに遠ざかり、平成も終わろうとしている今日、中央分離帯に静かに佇む推定樹齢400年の御神木のそばには、由来を末永く伝える立て札が立っていて、西に向かうお遍路さんが手を合わせて通り過ぎます。おついでがございましたらご覧になってください。

ナギ(榎)は海上の「凧」に通じることから、海にかかわる人々の間で昔から崇められ、日本各地の神社で御神木となっています。また、葉が裂けにくいので縁結びの木ともいわれます。「航海・交通安全」と「繋がり」をもたらしてくれるという縁起の良いナギの木が、多くの人々が行き来する高知駅の周辺に再開発当初から10本あまり植わっているというのも、何となくほっこりする話ではありませんか。そんなことを思いながら、今回新たに2本加えさせていただきました。

以上

